

(本事業は、ジャパン・プラットホームの支援を受けた支援事業です。)

サイクロン復興・耐災害土木建築技術移転支援事業

調査期間：2008年 2月 4日～ 3月26日

○事業目的:

復興期におけるインフラ施設の復旧・再建の技術移転、特に家屋・公共施設の建物の強度、耐震、防風対策を考えた建て方、さらに、道路・堤防などの脆弱な土地の補強の仕方などのマニュアルを作成し、被災地現場の復旧・復興に携わる土木建設技術者、建設業者、NGOなどを育成することを目的としている。

○事業内容:

(1) 当団体本部より次の二名を派遣する。

調整員：塚本俊也 (マニュアル作成作業およびワークショップの開催業務)

2月4日～3月26日の間

調査員：林 興治 (土木専門家としての道路・堤防の補強・再建についての指導)

2月9日～14日

調査員：大越 俊男 (建築専門家としての家屋・公共建築物の補強・強度についての指導)

2月9日～12日

以上